

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	03	188510	生活道路整備事業(繰越分)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	地区要望を踏まえた道路整備					
対象	整備が必要な市道、市道利用者（車両、歩行者、沿線住民）					
意図	安全で快適な通行が可能になる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【25年度】 新設改良(54路線)、現道舗装(27路線)、側溝整備(16路線)、雪寒対策(3路線)						
【26年度】 新設改良(33路線)、現道舗装(7路線)、側溝整備(4路線)、融雪設備整備(1路線)						
【27年度】 新設改良(41路線)、現道舗装(12路線)、側溝整備(8路線)、融雪設備整備(3路線)						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	新設改良事業実施路線	路線	計画	39	48	
			実績	41	47	
②	現道舗装事業実施路線	路線	計画	15	16	
			実績	12	16	
③	側溝整備事業実施路線	路線	計画	10	7	
			実績	8	7	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	新設改良整備(完成)延長	km	目標	0.6	4.1	
			実績	1.8	1.8	
②	現道舗装整備(完成)延長	km	目標	0.9	1.3	
			実績	1.2	2.9	
③	側溝整備(完成)延長	km	目標	0.2	1.2	
			実績	0.4	1.0	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
完成路線数や事業費等を検討し、事業路線数と完成延長を決定しているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市管理道路の整備のため、妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	本事業は、市道の新設改良、側溝整備を行うものであり、整備後は地域要望や道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難しい。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも限界がある。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市道は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
・道路整備に対する要望が多数寄せられている状況から、今後も継続的な整備が必要である。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	03	188510	生活道路整備事業(繰越分)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			38,181		38,181
財源 内訳	国・県		22,908		22,908
	地方債		13,600		13,600
	その他				
	一般財源		1,673		1,673

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	---	------	-----------------

部重点施策における目標

安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯

交通の中心が車となったことにより、道路整備が求められるようになる。

事業概要

【25年度】

新設改良(54路線)、現道舗装(27路線)、側溝整備(16路線)、雪寒対策(3路線)

【26年度】

新設改良(33路線)、現道舗装(7路線)、側溝整備(4路線)、融雪設備整備(1路線)

【27年度】

新設改良(41路線)、現道舗装(12路線)、側溝整備(8路線)、融雪設備整備(3路線)

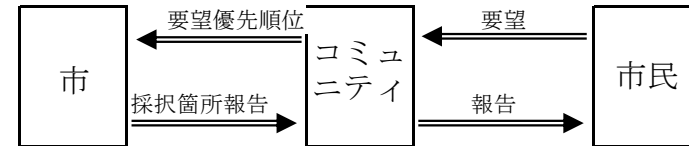
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・工事の計画・設計は、地域住民の意向を十分把握し、実情に即したものとなるよう、柔軟に見直しを行なうなど、地域のニーズに応えるとともに、併せてコストの縮減に努める。  
 ・要望路線中に家屋がない場合には必要性を再確認し、延長の縮小・整備内容の変更などを提案することにより、効率の良い整備事業に努める。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 駿河世紀 内線 574

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○ 新設改良 平成27年度事業費 350,762千円  
 4 1 路線 内 過疎路線 1 5 路線 完了路線 1 路線  
 完成延長 L=1. 5 km

○ 現道舗装 平成27年度事業費 39,304千円  
 1 5 路線 内 過疎路線 1 路線 完了路線 6 路線  
 完成延長 L=1. 2 km

○ 側溝整備 平成27年度事業費 24,844千円  
 8 路線 内 過疎路線 2 路線 完了路線 4 路線  
 完成延長 L=0. 4 km

○ 雪寒対策 平成27年度事業費 159,778千円  
 3 路線 内 過疎路線 0 路線 完了路線 1 路線  
 完成延長 L=0. 2 km

<H27繰越事業>

- ・西大通り西境線 C=4,177千円 L=0.101km
- ・法船板橋線 C=18,729千円 L=0.26km
- ・工沢欄ノ目線 C=15,275千円 L=0.147km

合計C=38,181千円 (38,276千円) () 内繰越予算  
 工事費